

## B—6 被服着用時に生じる被服材料の変形 について(第3報)

—地の目使いを異にしたスラックス  
にみられる型くずれについて—

奈良女家政 山田 洋子  
丹羽 雅子  
古里 孝吉  
全蘭短大 ○伊藤 紀子

1. 前報で地の目の異なるスカート, スラックスの構成時および着用時に生ずる変形の実態ならびにこれらの材料の力学的異方性との関係を捉えた。本報では, 地の目使いを異にしたスラックスをとりあげ, これらを繰返し着用したときの型くずれを着用実験により捉える。他方, 材料実験により繰返し二軸伸長変形を与えたときの特性変化ならびに繰返しせん断変形を与えたときの特性変化, 塑性ひずみ等を実測して両者の関係について検討する。

2. スラックスの前後の折山線にたて糸およびよこ糸をそわせたものと  $45^\circ$  方向のスラックスについて, 1日の着用時間 5 hr, 合計 100 hr着用した結果, スラックス外観の変化や各部位の変形状態を写真観測によって捉える。一方, 二軸引張試験機により着用時に生じる変形域を設定して繰返し二軸伸長変形, せん断変形特性を測定する。

3. 100 hr 着用実験程度では地の目使いを異にしたスラックス間の外観全体に関する顕著な変形の差異は認められないが, 変形量の大きい部位に関しては材料の異方性が着用実験結果とかなりの相関を示す傾向が認められた。